

## 「はっくん」がミュージアムキャラクターアワード2018に参加しました



丹青社が運営するサイト「インターネットミュージアム」で毎年夏休み期間に開催している「ミュージアムキャラクターアワード」という人気投票があります。今回、運営事務局からお誘いいただいて、釧路市立博物館の「はっくん」が初めて参加しました。投票期間は7月24日から9月6日の約1か月半。特製「はっくんカード」を作って来館者に配布したり、SNSで宣伝したり

した結果、71キャラクター中13位、得票数は870票と健闘しました(瞬間最高順位は3位!)。元博物館職員の方のご協力により、高等看護学院の学生さんたちが「はっくんうちわ」をつけて北海盆踊りに参加してくださるなど、博物館内外からご支援いただきました。心から感謝いたします。

投票の際にいただく応援コメントが暖かさやセンスに溢れていて、とても嬉しく思いながら読んでいました。「きもかわいい!」「一目見た時から、二度見しました」「こんなシュールな見たことない!」「顔は複雑、体は簡素!絶妙なバランス!」「顔のわりにボディが雑!!

(笑) 素敵です」「はっくんの顔って一筆書きで描けそうだよね」「レゴっぽいね!」「知性が感じられる」などなど。「今日は8月9日だから「はっくん」の日だね。」というコメントで初めて「はっくんの日……!」と気付かされたこともありました。

上位陣の桁の違う得票には到底及ばなかったものの、比較的上位をキープしたことによって、これまで「はっくん」や釧路市立博物館を知らなかった人にも、知ってもらいきっかけになったと思います。ひとえに皆様の応援のおかげです。本当にありがとうございました!!

(加藤ゆき恵)



### 調査のお供

私は主に鳥類の調査をしているので、必須アイテムとして双眼鏡と記録するための野帳は欠かせません。他にも、観察した鳥を撮影するためのカメラや、遠くの野鳥を観察するための望遠鏡を使用することもあります。

多くの調査はそれらの道具があれば充分成り立つのですが、夜間行う調査は少し特殊です。野鳥にも昼中心に活動する鳥と夜活動す

る鳥がいます。夜は暗くて野鳥の姿が見えないため、彼らの鳴き声を聞き取ることでその存在を確認していきます。その調査をサポートしてくれるのがICレコーダーです。調査中、鳴き声がしたらサッとポケットから取り出し録音して、後日でも確認できるようにします。夜は声だけが頼りなので、とても重要なアイテムです。さらに、タイマー機能付きレコーダーなら、人がその場にいらなくても調査が可能です。目的の野鳥が生息しているような場所へ事前にセットしておき、指定の時間帯に自動で録音してくれます。この機能は非常に便利で、雨が降った時のための防水対策をする必要はありますが、夜間活動する鳥たち

の生息把握・生態解明に大きく役立っています。

とても便利な機能ですが、やはり落とし穴があります。録音しすぎると、後で聞き取るのに膨大な時間がかかるということです。自分で仕掛けたとは言え、例えば1日2時間分×7日間録音したりすると、14時間分聞き取らなくてははいけません。とても骨が折れる作業で大変なのですが、初めて聞く声が出たりする楽しみや、鳴き声から彼らの生活を想像できたりと、普段のバードウォッチングとはまた違った楽しみ方ができます。皆さんも野鳥の録音にチャレンジしてみてください。

(貞國利夫)